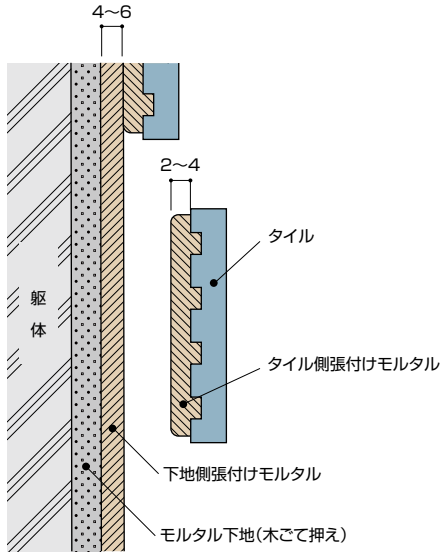


タイルの施工方法

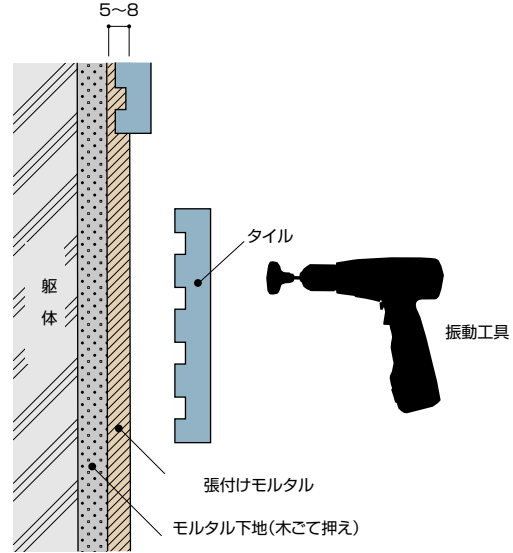
壁面

○改良圧着張り工法



張付けモルタルを下地面に塗り、タイル裏面全体にも張付けモルタルを塗り付けて、壁面に押し付けて張ります。

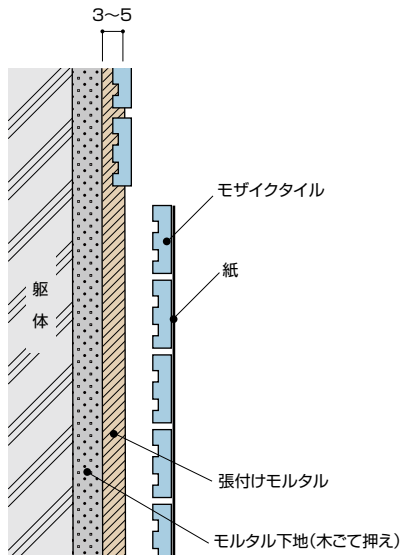
○密着張り工法(ヴィブラート工法)



張付けモルタルを下地面に塗り、タイル用振動工具を用いて埋め込む様に張り付けます。目地部に盛り上がったモルタルをコテ押えをして目地を同時に仕上げることも出来ます。

※目地深さがタイル厚の1/2に達しない場合は必ず目地の付送りか後目地で1/2までなるようにして下さい。

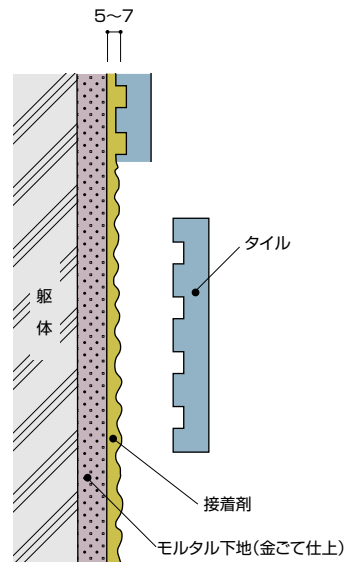
○モザイクタイル張り工法



張付けモルタルを下地面に塗り、モザイクタイルユニットをたたき板などでたたき押し付けて張ります。下地モルタルが硬化した後に表面に水しめしをして紙をはがします。

※接着剤張り専用商品と表示されているモザイクはこの工法で施工しないで下さい。

○接着剤張り工法



下地面に接着剤をクシ目を立てて均一に広げて、タイルを埋め込む様に張り付けます。

※タイルのサイズが大きいときやタイル裏面の凹凸が大きい場合は、クシ目を調整、又はタイル裏面にも接着剤を塗布して有効接着面積を確保して下さい。弾性接着剤の点付けによる施工は避けて下さい。

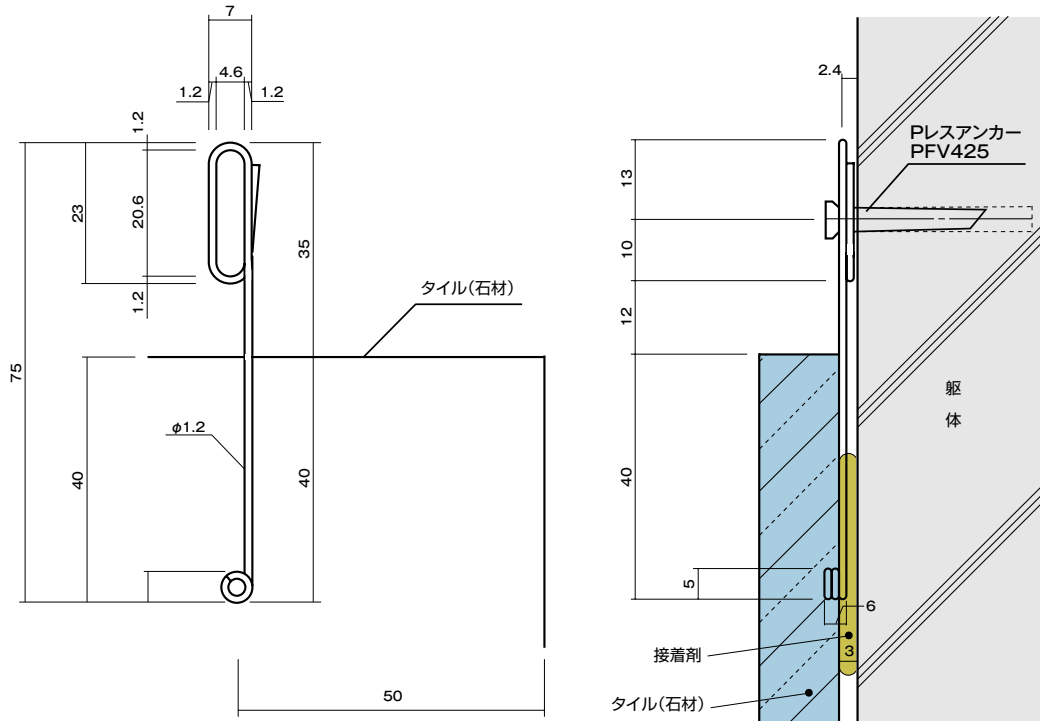
※セメント目地不要工法(後から目地詰めをしない工法)の場合は接着剤をクシ目で立てた後、平ゴテでクシ目をならし均一な接着層にします。

注意

下地が躯体(RC、ブロック造)以外のボード、ALC等の場合はその上にタイルを張れる下地であることを必ず確認して下さい。適切な下地処理を行った上でタイル張りを行って下さい。対応出来るタイルの厚み、荷重等はボード、ALC等それぞれのメーカーに必ずご確認下さい。

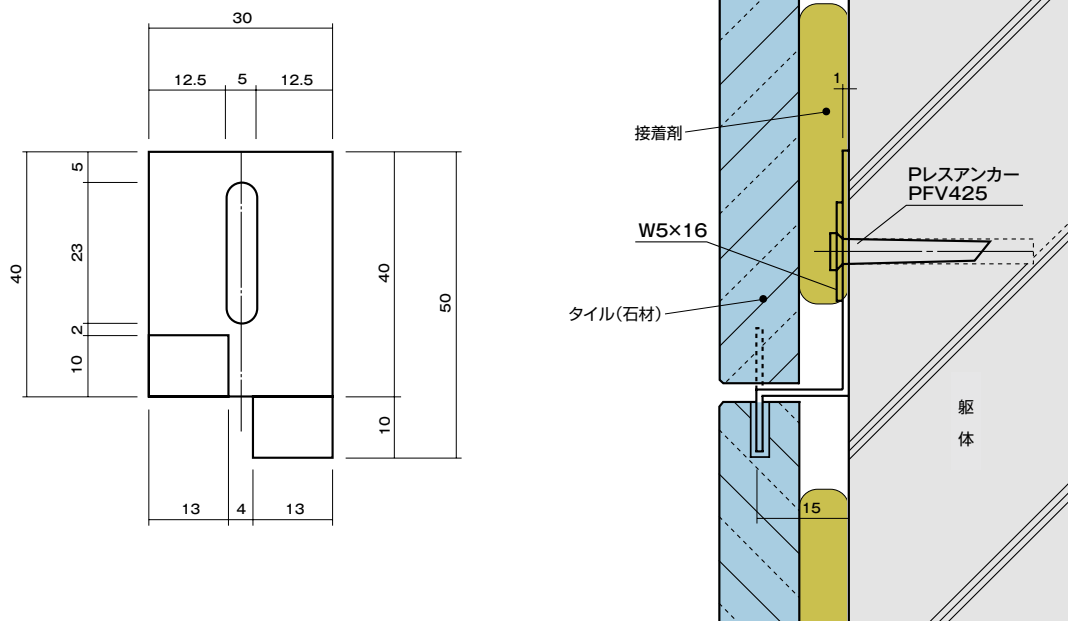
壁面

○カベマスクを使用した工法



※タイル(石材)に下穴を4.8mm 穴深さ5.0mmをあけてボンドを充填してカベマスクを取付けて下さい。
タイル(石材)を躯体に接着剤の点付けで張り付けて下さい。

○薄型用アングルを使用した工法



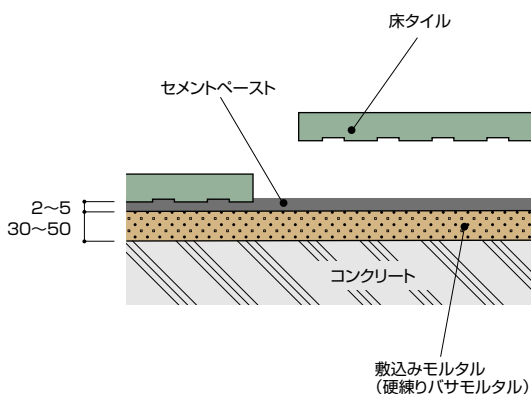
※タイル天端側小口と下端側小口に切込みを入れて、薄板用アングルをはめ込みボンド充填。
タイル(石材)を躯体に接着剤の点付けで張り付けて下さい。

注意

このページの工法は花崗岩、大理石でも使用できます。ただし厚みは15mm以下の場合です。
カベマスク、薄板用アングルは落下防止の補助としての役割です。接着剤でタイルをしっかり接着していただくことが前提の工法です。
外壁、内壁それぞれに適したボンドを使用して下さい。

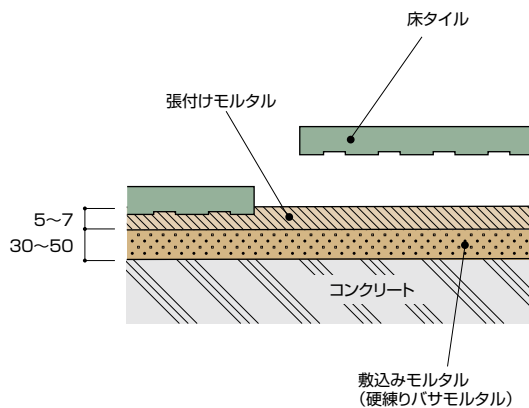
床面

○一般床タイル張り工法



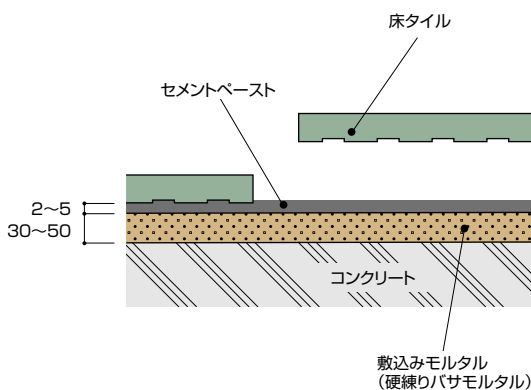
コンクリート面に敷込みモルタルを敷きならし、木こてなどで締め固めて平坦な下地を作り、敷込みモルタルが未硬化なうちにセメントペーストを掛け、その上にタイルを置きゴムハンマー等でたたき押えて張り付けます。比較的少面積で300角未満の床タイルの施工に適しています。

○床タイル圧着張り工法



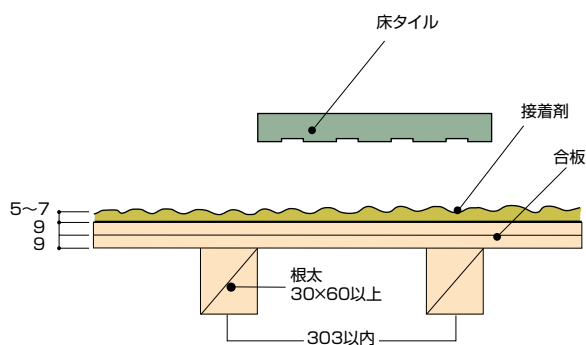
木こて押えしたモルタル下地の上に張り付けモルタルを塗り、ただちにタイルをゴムハンマー等でたたき押え、タイルの裏側にモルタルが充分広がるようにします。比較的広い面積で300角未満の床タイルの施工に適しています。

○大型床タイル張り工法



コンクリート面の上に敷込みモルタルを均一に敷きならし、その上にタイルを仮置きしてゴムハンマー等でたたいてレベル調整を行った後にタイルを一旦、取り除いて、敷込みモルタルの上にセメントペーストを塗布して直ちにタイルをゴムハンマー等でたたき押えて張り付けます。セメントペーストは1枚ごとに塗布します。

○接着剤張り工法



下地合板の上に接着剤をクシ目で塗り付けてタイルを張り付けます。

※内部床で水がかりの無い床面にのみ対応する工法です。
 ※合板が12mmの1枚張りや根石のピッチが303より広い場合は、目地に内装用弾性目地を使用して下さい。